

2015.8 vol.7

みんなの力で浦和美園駅から岩槻駅へ地下鉄をつなごう!

# SUBWAY NEWS LETTER 7



さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会 第7号

## 平成27年度 総会・講演会を開催

## “オールさいたま”による、効果的な事業展開で地下鉄延伸実現を応援



開催の挨拶をする江田会長



古川参議院議員による講演会

### 総会出席のご来賓者の皆様

さいたま市副市長 木下 達則 様	埼玉県議会地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟 小島 信昭 様
さいたま市議会副議長 小森谷 優 様	参議院議員 武正 公一 様
衆議院議員 古川 俊治 様	さいたま市総合政策委員会委員長 島崎 豊 様
衆議院議員 武正 公一 様	さいたま市文教委員会委員長 帆足 和之 様
衆議院議員 村井 英樹 様(代理)	さいたま市民生活委員会委員長 渋谷 佳孝 様
衆議院議員 奥水 恵一 様(代理)	さいたま市まちづくり委員会委員長 江原 大輔 様
衆議院議員 田中 良生 様(代理)	
参議院議員 矢倉 克夫 様(代理)	
参議院議員 行田 邦子 様(代理)	

祝電 埼玉県知事 上田 清司 様 埼玉県議会議長 本木 茂 様

### 画像で振り返る平成26年度の主な事業をピックアップ



### 平成27年度総会を開催 — 延伸実現に向け、事業計画を承認 —

- 開催日 5月29日(金)
- 場所 ラフォーレ清水園
- 参加者 255名

「さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会」(以下、期成会)の平成27年度総会並びに講演会を開催いたしました。

平成26年度の諸活動の報告、13,000会員を目標とした平成27年度予算・事業計画が承認され、当日は、国会・県議会・市議会のご来賓(上表参照)をはじめ、市民、企業、行政など多数の皆様にご参加いただき、盛会裏に終了いたしました。

#### 江田会長

#### — 東京五輪の開催を延伸実現の契機と捉え —

開会に先立ち挨拶した江田会長は、東京五輪でのサッカー会場に埼玉スタジアム2002が決定したこと、直近では、さいたま国際マラソンの開催や、順天堂大学付属病院の建設計画といった話題にふれ、「当期成会としても、大変心強く思っています。地下鉄7号線の延伸実現は、将来

のさいたま市の発展と新しいまちづくりに貢献するとともに、広く近隣各市の地域経済の発展にも寄与するものと、強く確信いたしております。」と延伸実現に向けた意欲を示しました。

#### 木下副市長

#### — 延伸実現に向け効果的に事業を —

清水さいたま市長の代理としてご臨席いただいた木下副市長は、期成会活動への感謝を述べるとともに、「浦和美園から岩槻地域の成長・発展は、全市の魅力・価値を高める大変重要なものであり、延伸を是非とも実現してまいりたい」と挨拶をされました。

#### 古川俊治氏 講演会

#### — 延伸実現への熱気に包まれる会場 —

総会終了後には、「地下鉄7号線延伸に向けての課題」と題し、参議院議員の古川俊治氏による講演会を開催。平成24年に策定した「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」の進捗状況や成果、延伸実現への課題と新たな解決策を示し、関係機関が一体となった活動の重要性をわかりやすく解説され、延伸の後押しとなるご講演となりました。

### 平成27年度事業計画

- 調査・検討事業
  - 沿線大学との連携によるものづくりの検討
- 埼玉高速鉄道(SR)利用促進事業
  - 地域体験型イベントの実施
  - 乗車会の実施
  - にぎわい創出型イベントの実施
- 啓発事業
  - 延伸実現に向けた講演会等の開催
  - 会報誌の発行・ホームページの運営による情報発信
  - イベント等参加によるPR活動
  - 啓発を目的としたグッズの制作
  - その他延伸に資する取り組み

### 会員数

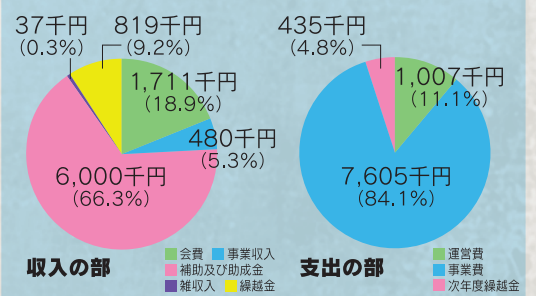
11,241会員  
(平成27年3月31日現在)

地下鉄7号線延伸活動を広くPRするため、おなじみの「地下7バッチ」を総会にご出席いただいた皆様に配布いたしました。



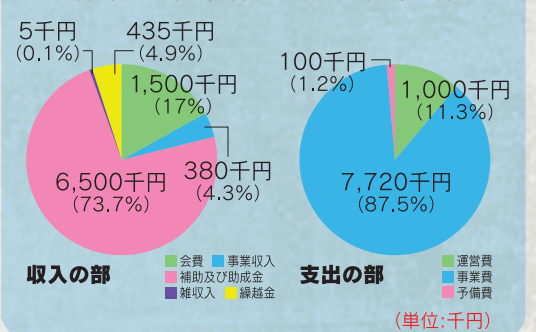
### 平成26年度 収支決算 (9,047千円)

自:平成26年4月1日 至:平成27年3月31日



### 平成27年度 収支予算 (8,820千円)

自:平成27年4月1日 至:平成28年3月31日





## 地下鉄7号線とは?

目黒～赤羽岩淵～浦和美園(35.9km)からなる東京メトロ南北線と埼玉高速鉄道線(SR)の総称で、東京メトロ南北線、埼玉高速鉄道線(SR)、東急目黒線の3路線が相互直通運転をしています。



## 鉄道今昔物語

### 第4話



鉄道ジャーナリスト「渡部史絵氏」の人気連載コーナー。地下鉄7号線の延伸を早期に実現させるべく、様々な角度から鉄道の魅力や地域活性化のヒントをブロの視点でご執筆いただいております。

耳を澄ませばどこからか涼しげな風鈴の音が聞こえてくる季節「夏」...他に夏という言葉から連想するのは、やはり「夏休み」ではないでしょうか。私が子供の頃の夏休みには、祖父が夕涼みと称して近所の踏切に行き、二人でアイスキャンディを食べながら、走り行く列車を眺めて楽しんでたことが思い出に残っています。

さて、思い出の中にも登場した踏切。現在国内では、普段よく遭遇する「カンカンカンと鳴る警報機と遮断桿を降ろす遮断機のある物」、ローカル線で良く見かける「警報機だけが建植されている物」、路面電車や閑散区で見られる「警報機も遮断機も無いもの」以上の3種類に分けることが出来ます。そして、これとは別に、踏切に掛員さんが常駐し、ワイヤーで出来た昇降式の遮断網を、通過する人の具合を見計らいながら開閉している踏切も、昔は結構見ることができました。

幼い頃の私には、あの掛員さんのワイヤー捌きが、まるで職人芸のように見えました。私はそれを祖父と共に、これから通過するメインテナンスである列車を眺める前のアビタイザーのような感じで、少し興奮気味に楽しんでたのを、今でも鮮明に覚えています。

上記に述べた踏切も実は減少方向にあります。東京都内でみますと、1969年に約1700箇所あった踏切は、現在では1050箇所程度にまで減っています。これは、鉄道側が高架化あるいは地下化したものや、道路側が地下化もしくは橋上化したためです。踏切は、文字通り道路を遮断して道路交通を止めますので、渋滞が発生してしまいます。また、道路交通と鉄道が平面交差するために、事故が発生する確率も高く、私たちの生活にも少なからず影響を及ぼします。そのため、現在の法令では、踏切を新設することは出来なくなりました。新しい鉄道路線は、高架化や

地下化を余儀なくされているのです。そのような鉄道事情の中、埼玉高速鉄道線には、踏切は一箇所もありません。殆どが地下です。そして、この先延伸する区間も、高架と地下の組み合わせです。注目して頂きたいのは、鉄道が地下や高架になって恩恵を得るのは、実は私たちがかも知れません。線路で街が二分されることもなく、住みよいコミュニティ作りができるからです。



2013年に行われた小田急線・東北沢、下北沢、世田谷代田の地下化工事のため、現在は廃止された、小田急線・下北沢駅(南口)東北沢6号踏切の写真。(廃止前の2012年に撮影)

### 著者紹介

鉄道の有用性や魅力を発信するため、鉄道関係書籍の執筆や監修に日々励む。月刊誌や新聞等の連載や、寄稿など執筆活動を主体に、国土交通省をはじめ、行政や大学、鉄道事業者にて、講演活動等も多々行っている。著書に、『譲渡された鉄道車両』、『路面電車の謎と不思議』(東京堂出版)、『鉄道のナゾ謎100』、『鉄道のナゾ謎99』(ネコ・パブリッシング)、『進化する路面電車』(交通新聞社)など多数。



鉄道ジャーナリスト 渡部史絵氏

## SR乗車体験記 vol.7 川口元郷駅編

地下鉄7号線の各駅を紹介してまいります本コーナー。降り立つ駅にどんな出会いが待っているのでしょうか?

今回、埼玉高速鉄道(SR)「川口元郷駅」を探访。

入社8年目で、これまでに3つの駅を経験している駅務係の菊地さんからお話を伺いました。お客様から駅周辺のことを尋ねられた時に渡すという同駅手作りの地図を頂き、散策開始。

2番出口を出てすぐ岩槻街道(国道122号)沿いにある「ふじや井丸」は、今年3月にオープンしたばかりの海鮮丼お持ち帰り専門店。



手ごろな価格で海の幸を丼ぶりで召し上がられ。ランチときどき、夕飯としての購入されるお客様が多いそうです。

選ぶのを迷ってしまうくらい豊富な品揃えで、駅員さん達のお腹を満足させています。

同街道を岩槻方面へ徒歩8分で「旧田中家住宅」へ。江戸から明治時代にかけて、大麦と地下水を利用した麦麹味噌の醸造業と材木商で財を成した田中家・大正12年に洋館の邸宅を建設し、昭和初期に増築された和館



デザイン性に優れた洋館と数寄屋造りの和館の内蔵も見ごたえあり。1階正面玄関には欄干と神燈が設けられており、商家としてのスタイルを残し、洋風の中にも一流の材料を用いた和風のつくりとなっています。



日頃の研修や訓練が急病人などのアクセシビリティに活かされていると語り、困っているお客様に親しみやすい笑顔で応える菊地さん。駅の歴史は川口を象徴する街物オブジェとなっています。

の他、茶室、文庫蔵、池泉回遊式庭園により構成されており、平成18年に国登録有形文化財に登録された建造物です。今なお優美な外観を保ち、明治から大正へタイムスリップのひと時が楽しめます。

埼玉県と東京都を隔てる荒川。その良質な川砂と粘性の強い芝川の泥が、川口を代表する鋳物業発祥の所以とされています。街歩きの前に「川口市立文化財センター」に立ち寄れば、川口の近代～現代や古代～近世の先人が残した文化財が学べ、川口の記憶をたどる旅が体験できます。

SRの中で乗車数も多く、都内と隣接する同駅周辺は、急速に都市

### 川口元郷駅周辺のおすすめスポット

- 1 ふじや井丸 川口市元郷1-3-4 TEL:048-223-5215
- 2 川口市立文化財センター 川口市本町1-17-1 TEL:048-222-1061
- 3 旧田中家住宅 川口市末広1-7-2 TEL:048-222-1061

化が進み、高層マンションがそびえ立つ「便利で新しい街」。その一方で住宅密集地に残る「歴史の息吹にふれることができる街」なのです。



かつては荒川沿いに工場が立ち並んでいましたが、今はマンションに変わり、遊歩道や公園は住まう人々の癒しと憩いの場となっています。

## さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会



促進に向けた事業を行います。(乗車会や日帰り観光イベント事業など)

3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

一期成会に加入するには一

趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等のメンバーで構成されています。ご加入(会費無料)できます。

### 一期成会とは

「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま」で応援する組織です。

主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

### 一期成会が行うこと

1. 調査・検討事業を行ない、
2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用

詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。(表面下段参照)

### 役員等名簿

顧問	秋谷 文男	信越化学工業株式会社代表取締役副社長
	西垣 順充	曙ブレーキ工業株式会社顧問
	安野 清	株式会社ペルーナ代表取締役社長
会長	江田 元之	さいたま商工会議所相談役
副会長	佐伯 鋼兵	さいたま商工会議所会頭
	清水志摩子	さいたま観光国際協会会長
理事	小川 逸郎	さいたま商工会議所副会頭
	安藤 嘉明	さいたま商工会議所副会頭
	中島 智	さいたま商工会議所副会頭
	高橋 三男	さいたま商工会議所副会頭
	齋藤 英一	見沼区自治会連合会会長
	星野 孝男	緑区自治会連合会会長
	田中 岑夫	岩槻区自治会連合会会長
	守屋 二郎	さいたま市商店会連合会会長
	田中 泰治	岩槻商店会連合会会長
	金子 肇	埼玉中央青年会議所理事長
	小澤日出行	岩槻工業団地事業協同組合理事長
	西村 和義	日本信号株式会社相談役
委員	大久保秀子	浦和大学学長
	佐藤 郡衛	目白大学学長
	久住 真理	人間総合科学大学学長
	淵田 敬三	浦和レッドダイヤモンズ代表取締役社長
	鈴木 茂	大宮アルディージャ代表取締役社長
	江口 明男	見沼区長
	岡村 健司	緑区長
	中井 達雄	岩槻区長
	矢代 直文	さいたま観光国際協会専務理事
	矢部 憲春	さいたま商工会議所専務理事
<b>事業推進委員会委員名簿</b>		
委員長	佐伯 鋼兵	さいたま商工会議所会頭
委員	小川 逸郎	さいたま商工会議所副会頭
	安藤 嘉明	さいたま商工会議所副会頭
	中島 智	さいたま商工会議所副会頭
	高橋 三男	さいたま商工会議所副会頭
	渋谷 裕明	さいたま商工会議所政策委員会委員長
	井原 實	さいたま商工会議所街づくり・観光委員会委員長
	齋藤 英一	見沼区自治会連合会会長
	星野 孝男	緑区自治会連合会会長
	田中 岑夫	岩槻区自治会連合会会長
	佐藤 郡衛	目白大学学長
	田中 泰治	岩槻商店会連合会会長
	斎藤 公	岩槻区人形協同組合理事長
齊藤 進	さいたま市野球連盟連合会副会長	
服部 直	さいたま商工会議所女性会会長	
安東 毅	さいたま商工会議所青年部会長	
長野 晋睦	さいたま商工会議所岩槻支部支部長	
松永 大祐	さいたま市建設業協会岩槻支部支部長	

(平成27年7月1日現在)

### 浦和美園駅⇄岩槻駅の移動には、ぜひ「快速バス」をご利用ください。



地域間の連携強化と移動の創出、アクセス強化による埼玉高速鉄道線の利用促進・移動実態の検証などを目的として「快速バス」が運行中。浦和美園駅で埼玉高速鉄道に乗り換え、そのまま都心へ。お出かけには、便利な「快速バス」と「埼玉高速鉄道」をご利用ください。

## 編集後記

川口市内を貫く荒川はその昔、舟運を使って江戸へ人や物が輸送されていました。歴史を辿る取材で感じたのは、街の繁栄の傍らには、人・産業の交流が可能なライフラインがあつてこそ。

2020年の延伸地域を考えた時、大学附属病院の進出計画をはじめ、埼玉スタジアム2002が東京五輪のサッカー会場となり、さいたま市東部地域への関心が高まります。その時、多くの方に訪れていただけるよう、当期成会といたしましても地下鉄7号線の延伸を応援して参ります。(A)

## さいたま市からお知らせ

### 『日光御成道ふれあいウォーキング』開催!

浦和美園駅から岩槻駅までの緑区、見沼区、岩槻区を繋ぐ日光御成道や見沼田んぼの歴史・文化、自然にふれあいながら地域の魅力を満喫できるウォーキングイベントです。

日時 9月27日(日) ※小雨決行・荒天中止  
 受付時間 スタート 9:30~10:30 ゴール 15:30  
 コース 浦和美園駅⇒國昌寺⇒七里総合公園⇒東宮下親水公園⇒岩槻郷土資料館⇒岩槻駅(歩行距離約14km)  
 参加資格 年齢性別を問わず健康な方(小学生以下は、保護者または引率者の同伴が必要)  
 参加費 無料  
 定員 1,000人  
 申込方法 はがき、Eメール、FAXにて「記載事項①②」を記入  
 ①日光御成道ふれあいウォーキング  
 ②参加者住所、氏名、性別、年齢、電話番号、参加人数(複数申込みの場合は参加者全員の住所、氏名、性別、年齢)

申込先 〒339-8585 さいたま市岩槻区本町3-2-5 岩槻区役所 コミュニティ課 宛て FAX: 048-790-0261 Eメール: iwatsukiku-community@city.saitama.lg.jp  
 締切日 8月28日(金) 必着  
 主催 日光御成道ふれあいウォーキング実行委員会  
 問合せ 緑区役所 コミュニティ課 TEL: 048-712-1130

